



Atelier-Imagine

IMAGINE TIMES

イマジン タイムス 2019.4

●今月の注目トピックス●

- どおでもいい雑学の時間…ピカピカの一年生
- いろんなグッズ紹介…バックハンガー「Clipa」
- 鶴岡桜まつり「Instagramフォトコンテスト」
- かんたんレシピ…アスパラガスと生ハムのパスタ
- 現場だより…鶴岡で「ルーキーズカレッジ」開催



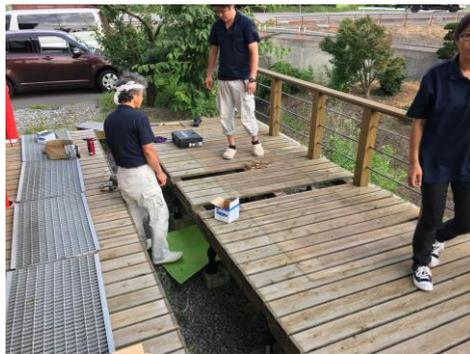
わたなべ@イマジンの大きなひとり言・・・

みなさんこんにちは、アトリエイマジンのわたなべです。

3月になって雪も無くなり天気の良い日が増えましたね。今年は雪融けも早いですが花粉が舞うのも早いようです。私は花粉症ではありませんが、周りでは「目がショボショボする」とか「鼻がムズムズする」といった声が聞こえるようになりました。この間までは風邪の予防でマスクをしておりましたが、これからは花粉症対策でマスクが離せませんね((+_+))

さて、雪が解けて春になってくると増える相談の一つに「ウッドデッキや塀の塗装」があります。冬期間雪につもり過酷な状況にあったウッドデッキや塀はやはり色褪せなどが出てきます。よくウッドデッキなどを木材で造ると毎年塗装しないとイケないのですか？と聞かれますがそんなことはありませんよ(*。^*)設置場所や使用頻度・使用材種にもよりますが、2年で塗装ができれば上出来です。3～4年に一度でも大丈夫ですよ。しかし、杉や松などで造られたウッドデッキは5年何もせず放置するとだんだん腐ってきます・・・

コチラの写真は当社事務所のウッドデッキですが、杉で造っているため5年で腐ってきました。その場合は腐った板の交換をいたします。ちなみに桧や米杉で造られたデッキ材はもう少し対応年数が長いですよ。



塗装する塗料は「キシラデコール」という塗料をよく使います。ペンキと違い木部に浸透する塗装ですので塗り重ねができます。そして何よりホームセンターでも手軽に変えますので一般の方でも簡単に手に入りますし塗装も簡単です。ぜひ一度DIY感覚でやってみてはいかがでしょうか？ウッドデッキの対応年数が一段と伸びますよ(#^.^#)

どおでもいい雑学の時間。-ピカピカの1年生-

4月は新しく環境が変わったりする方が多いと思います。子供たちは新学期が始まりますよね！ピカピカのランドセルを背負っている子供たちを見かけると、なんだか懐かしい気持ちに。ランドセルの色味もさまざま、こんな色の欲しかったなあ～とたまに思います。

さてこの「ランドセル」ですが、原型とされるものは江戸時代末期には使われていたそうですよ。その当時のランドセルの原型は、軍人の装備品として使われていました。布製のリュックサックのようなものでした。明治時代に入ると学習院と呼ばれる現在の学校が誕生し、子供たちは教科書をつめて通学するようになりました。

当時は布製でしたが、伊藤博文が大正天皇に特注の革製のランドセルを贈った事から、革製のランドセルが誕生したのです！当時、革製のランドセルは高級品であり、富裕層の子供のものでしたが、少しずつ庶民にも普及するようになりました。

今では普通に見かけますが、当時はみんなが持っているわけではなかったのですね。

現在、ランドセルの色味で人気なのは何色だと思いますか？女の子はピンク系が人気みたいです！男の子は黒のランドセルで、サイドが青くカラーリングされているものが人気のようです！ほかに、背面に色がついていたり…と、ランドセルはもう黒や赤だけの時代ではないのですね…6年間使うのですから、飽きない色にしたいですね！

役目を果たしたランドセルの保管方法は、小学校の思い出の品を収納してそのまま保管したり、ミニチュアに作り直して飾ったり、様々な工夫があるようです。なんと海外では、ランドセルが人気になり、ファッションアイテムとして購入されているようです！大人が使っているそうです。なんとすごいですね～



今月のいろんなグッズ紹介！

「Clipa」

出かけ先で鞆の置場に困ることって意外と多いですよ。そこでおすすめなのがこちら！通常のバッグハンガーがテーブルの水平面だけだったのに比べて、突起に挟んだり、ポールに引っ掛けたりしてご利用いただくことができます。厚さ70ミリの分厚い天板のテーブルでも利用が可能です。たいへん軽い力で開いて、手を離すと自動的にふたたび閉じるので使い勝手も良いです。重量はわずか48グラムですが、なんと15kgという耐荷重を持っています。カラーバリエーションも豊富なのでオシャレも楽しめます^^



かんたんレシピ アスパラガスと生ハムのパスタ



シンプルな材料でできる、お手軽パスタ。お味は本格イタリアン！

作り方

- ①アスパラガスは下の固い部分を切り落とし、斜めに切っておく。
- ②生ハムは1cm角に切る。
- ③大き目の鍋に湯を沸かし、塩を加えてパスタを袋の表示通りに茹でる。
- ④フライパンにオリーブオイルと薄くスライスしたニンニクを入れて弱火にかける。
- ⑤香りがしてきたら、ニンニクを取り出し、生ハムを加えて炒める。色が変わってカリッとしてきたらアスパラガスを加えてさっと炒める。
- ⑥茹であがったパスタの水気を切り5のフライパンに加えて全体をサツといためる。
- ⑦器によそい、パルメザンチーズとピンクペッパーを散らす。お好みでフレッシュタイムを飾る。

食材・調味料(4人分)

アスパラガス (細めの物) : 1パック
生ハム : 4枚
パスタ : 360g
にんにく : 2片
オリーブオイル : 大さじ2
塩 : 大さじ1
パルメザンチーズ : 20g
ピンクペッパー : 適宜
フレッシュタイム (飾り用) : 適宜

★ワンポイント★

細めのアスパラガスが手に入らなかったら、普通の太さのアスパラガスで代用できます。その時には炒める前に下茹で(1分)してください。



開花日~5月12日(日)まで鶴岡の街を歩いて桜風景をインスタに投稿しよう!!

鶴岡桜まつり

Instagramで@tsuruoka_machiarukiをフォローして応募&投票

今年は例年よりも開花が早いそうですね。花粉症には大変辛い時期ですが、それでも間近な春が待ち遠しいです。鶴岡観光協会では、昨年からのInstagramフォトコンテストを開催しているのをご存知でしょうか。専用アカウントをフォローし、鶴岡市内の桜風景を撮影して、ハッシュタグを付けて投稿すれば応募完了です。専用アカウントでは桜の開花情報も発信されます。グランプリには湯野浜温泉宿泊券、つや姫など豪華な副賞も!ぜひ応募してみませんか。詳細はInstagram又はホームページでご確認ください。https://tsuruoka-machiaruki.com/



#鶴岡桜まつり #鶴岡桜フォトコン 2019

現場だより。 -鶴岡でルーキーズカレッジ開催-

去る2月19日、鶴岡市の東京第一ホテル鶴岡で若手社会人が学び、成長しあうネットワークづくりを目指す「庄内地域同期会ルーキーズカレッジ」が開催されました。庄内地方の企業・事業所に勤める1~3年目の従業員ら50人が参加し、アトリエイマジンの従業員 上野裕太（29歳）が先輩社会人としてゲストトークさせていただきました。

上野からは、仕事のやりがいや心がけていることをお伝えしながら、新人時代を振り返りアドバイスさせていただきました。

若手社会人の皆さんが、職場の垣根を越えて学びあった一日。当社従業員のアドバイスが参考になったならば幸いです。

「ルーキーズカレッジ」とは

中小企業が多い庄内地域では、年齢の近い社員が身近におらず、相談できない等の孤立感から就職してから3年の間に離職する社員が多くなっています。

「人手不足で若手社員の教育に手が回らない」「若い社員とのコミュニケーションが難しい」「仕事を覚えてきたところなのに辞めてしまった」多くの企業が若手社員に関する悩みを抱えています。

数多くある選択肢のなか、地元で働くことを選んできた庄内地域の若者たちが「同期・仲間・友達」の繋がりを作るとともに、不安の解消を図り、意欲高く働き続けてもらう人材を育成する研修です。

「庄内地域同期会」とは

「同期・仲間・友達のつながりを作りたい」若者を応援し、地元の若者・優秀な人材を定着させて「住みよい・楽しいまちをつくる」プロジェクトです。新卒者として新しく働き始めた方、結婚や転職などのUIターンや、創業・起業などで新しい生活を始めた方を対象に、「職種や年代を超えた同期をつくろう」「相談できる人、仲間、友達と呼べる人をつくろう」を目的として、そのために出会いの場、学び・遊べる交流の場を提供します。



アトリエイマジンでも、この春、高卒の新社員を迎えます。

大工職人不足問題が深刻な建設業界において、大工を志してくれた貴重な若者を大切に育てていきたいと考えております。そして、地域に根差す大工として、立派に成長してくれることを期待しています。そのためにも、地域と連携し、早期離職防止に向けて、若手社員のフォローに力を注いでいきたいと考えます。

地域の皆様には、若手社員の成長をあたたく見守ってくださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



早期離職防止へ新しいつながり 鶴岡市と公益大研究室が「地域同期会」設立

若者の早期離職防止や多様な人材の地元定着を図ろうと、鶴岡市などが「地域同期会」を立ち上げた。新社会人やUターンなどで新生活を始めた人たちを対象に、職種や世代を超えた仲間を増やしてもらうのが目的。県内自治体では初の試みで、市は異業種交流や、人との新しいつながりづくりの場になることを期待している。

地域同期会は、悩みを相談できる相手や、一緒に遊べる友人をつくりたい人を応援する取り組み。マーケティングや人材育成などを専門とする平尾清東北公益文科大特任教授の研究室と市が、協力して設立した。今後は定期的に交流会を開いて親交を深めるほか、企業に周知し、若者の参加を呼び掛けていく。

大阪労働局が早期離職者を対象に行った調査によると、3カ月未満で離職する割合が「同期あり」の14%に対し、「同期なし」は36%に上ったという。こういった事例を踏まえ市と同研究室は、若者たちに仕事の悩みを相談できる仲間を増やしてもらい、早期離職防止につなげる考えだ。

市内の飲食店「百けん濠（ぼり）」で4月下旬、初めての交流会を開催。市内外から大学生や会社員など20人ほどが集い、和やかな雰囲気の中、2回目の交流会で行う内容について話し合った。仕事の関係で東京から引っ越してきた研究員野間口さん（28）＝三川町横山＝は「地元の人たちと知り合いになれたのは良かった。仲良くなって庄内のことをもっと聞きたい」と話した。（『山形新聞』2018.5.24）



有限
会社

アトリエ イマジン

SNSも更新中です！⇒



〒997-0117 山形県鶴岡市大宝寺字中野 142-7



0120-910-348

TEL0235(25)5508

FAX0235(25)5509



「イマジン タイムス」がご不要の方は、アトリエイマジンまでご連絡ください。